

政策方針 4 富士山のように大きな心を持った人づくり
（教育文化分野）

4-1 人を育む環境の充実

まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け

しごと	ひと	少子化	安心	地域
-----	----	------------	----	----

SDGs における位置付け



国土強靭化計画における位置付け

a. 直接死を防止する	b. 救助救急活動の確保	c. 行政機能の確保	d. 経済活動を機能させる
e. ライフラインの早期復旧	f. 迅速かつ強靭な復興	g. 防災と地域成長の両立	

現状と課題

ICT（情報通信技術）を活用した教育の充実など、子どもや子育て世帯を取り巻く環境が大きく変化する中、幅広い教育ニーズへの対応や、魅力的な教育環境の整備など、教育の現場に求められるものも多様化しています。学校などの教育現場では、「人間力と社会力」を核とした教育を基本に、誰ひとり取り残されない学びの実現に向けて、御殿場市子ども条例の基本理念のもと、全ての子どもの幸せと健やかな成長に向けた取組が求められています。

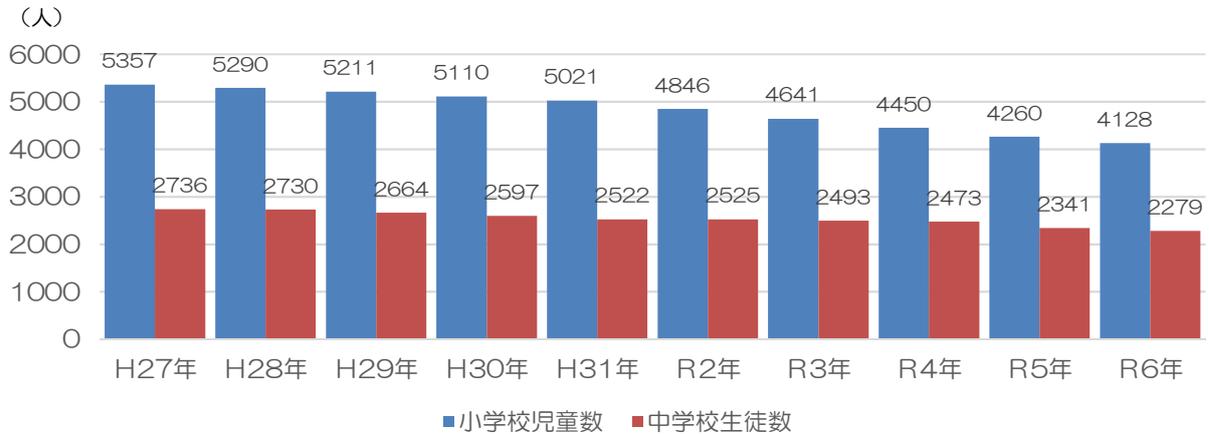
また、子どもの健やかな成長には、家庭教育力の向上や、幅広い年代の子どもを見守り、郷土愛を育む役割を担う地域との連携など、社会総がかりで子どもを育てていくことが重要です。

□ 関連計画等

- 御殿場市の教育に関する大綱
- 御殿場市教育振興基本計画
- 御殿場市子ども条例行動計画
- 教育情報化推進基本計画
- 御殿場市子ども・子育て支援事業計画

□ 現状データ

御殿場市立小学校児童・中学校生徒数



出典：御殿場市学校教育課

家庭教育学級生徒数

年度	家庭教育学級の学級生の数(人)
R2年	884
R3年	892
R4年	791
R5年	701
R6年	848

出典：御殿場市社会教育課

家庭教育学級運営委員研修状況

年度	研修回数(回)	延べ受講人数(人)
R2年	7	209
R3年	6	208
R4年	7	321
R5年	7	220
R6年	7	249

出典：御殿場市社会教育課

政策の目標

- ◆ 「豊かな感性」「確かな知性」「健やかな心身」を育む魅力ある教育の充実と、その環境整備に努めます。
- ◆ 家庭、地域、学校などが一体となって、市民総がかりで子どもの教育と青少年の健全育成を行います。

□ 政策成果指標

指標	計算式等	基準値 (R6)	目標値 (R12)
近所の人に挨拶する、困っている人に手助けしようとする児童生徒の割合	学校生活及び教育活動に関するアンケート	89.0%	95.0%

指標	計算式等	基準値 (R6)	目標値 (R12)
特別支援教育の校内支援体制が整備されていると感じている教職員の割合	学校生活及び教育活動に関するアンケート	88.0%	95.0%
学校の自己評価・学校関係者評価により、教育課程の改善がされていると感じている教職員の割合	学校生活及び教育活動に関するアンケート	96.8%	98.0%
教育支援センターでの活動は、活動しやすいと感じている利用者の割合	利用者アンケート	90.0%	95.0%

施策

（１）乳幼児期における教育の充実

乳幼児期の健やかな育ちを支援することにより、質の高い幼児教育の提供を図ります。また、未就園児やその保護者に対するサポートを進めるほか、小学校との連携、一貫教育の推進や地域との交流の推進を図ります。

（２）人間力と社会力を核とした教育の充実

「豊かな感性」「確かな知性」「健やかな心身」を育成するため、人権教育や道徳教育、国際理解教育、ICT教育、健康教育などを推進し、個性や想像力を伸ばし、学ぶ意欲を育てる教育を充実させます。また、心の教育副読本「ふじさんのように」などを活用した、自他を大切にできる心の教育を充実させ、生き方や命の大切さを学ぶとともに、誰一人取り残すことのない学びの実現に向けて、いじめ対策、教育支援センター等を活用した不登校対策の充実を図ります。

さらに、社会の中での役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく力や新たな価値観を創造する力を育成するため、文化や芸術に触れ、職業観を育むための事業を、より一層充実させていきます。

（３）開かれた学校・魅力ある学校づくりの推進

児童・生徒、教職員の積極的な地域活動への参加などにより、地域との交流を進めるとともに、「地域とともにある学校」への転換を図るため導入を進めている、コミュニティ・スクール制度を活用し、郷土への愛着と誇りを育む取組の推進を図ります。

（４）教職員・指導者の人材確保と育成

多様化する教育ニーズに対応するため、情報教育・外国語教育・特別支援教育・危機管理など、

教職員への情報提供の充実を図ります。

また、教職員の育成のため、キャリアステージに応じた研修の充実を図るとともに、教育指導センターを拠点とした教職員の学びを支援します。

（５）学校などの教育施設・設備の充実

乳幼児・児童生徒が安心して学ぶことができ、多様化する教育ニーズに対応できる施設・設備の整備を推進します。

（６）学校給食の充実

安全・安心な給食の提供を継続するために、施設改修事業を計画的に進めるとともに、児童・生徒の成長に合わせたメニューの研究開発、地場産品の利用促進、食育の充実を図ります。

また、「真の子育て支援日本一」実現の観点から、学校給食費助成事業を継続して実施していきます。

（７）高等教育などの支援の推進

地域を担う人材を育成するため、高等学校が行う特色ある学校づくりなどの取組を支援します。

また、高等学校や大学との連携により、地域課題解決やアントレプレナーシップ（起業家精神）の育成に取り組むとともに、学生が地域とかわりを持ち地域の魅力を感じる機会の創出に努めます。

（８）家庭教育力、地域教育力の向上

子育てに関する学習講座など、学びあいの機会の充実による、家庭の教育力向上に取り組みます。

また、家庭、地域、学校などの連携による、地域の教育力向上に取り組みます。

（９）青少年の健全育成

青少年が多様な体験を行えるよう、様々な人々との交流活動や自然体験活動などの機会の充実を図り、地域活動やボランティア活動などの社会参加を促進します。

また、各地区の青少年健全育成組織の活発化や、青少年補導、相談活動、青少年を有害情報から守るための取組などを推進します。

4-2 生涯学習と地域活動の推進

まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け

しごと	ひと	少子化	安心	地域
-----	----	-----	----	----

SDGs における位置付け



国土強靱化計画における位置付け

a. 直接死を防止する	b. 救助救急活動の確保	c. 行政機能の確保	d. 経済活動を機能させる
e. ライフラインの早期復旧	f. 迅速かつ強靱な復興	g. 防災と地域成長の両立	

現状と課題

ライフスタイルの多様化に伴い、学校、社会教育、文化活動、スポーツ、レクリエーション活動、ボランティア活動など、市民の学習需要は高まるとともに、多様化しています。そのため、生涯を通じて様々な場面における学習機会を得ることができる環境の整備が求められています。

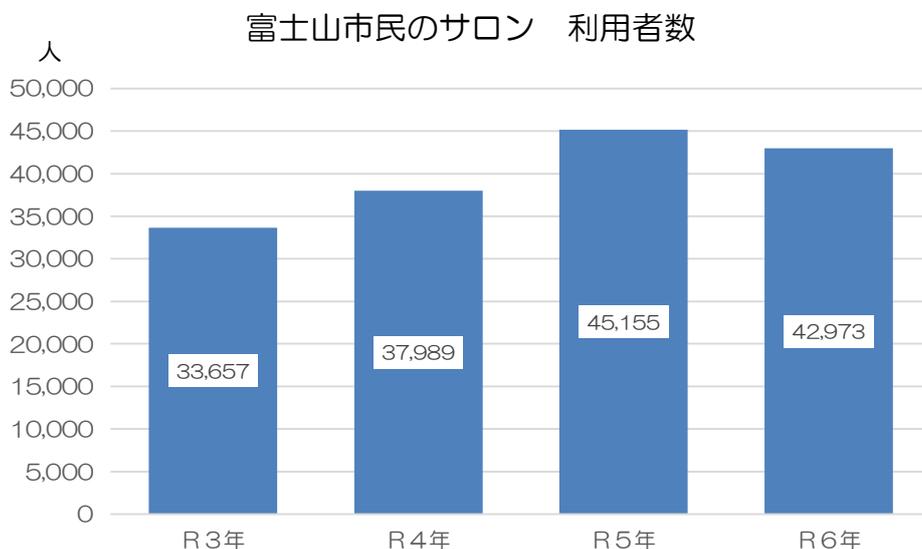
また、地域コミュニティのつながりが希薄化する一方、災害時の共助に代表されるように、地域コミュニティが担う役割への期待や重要性が高まっています。

さらに、地域社会に関心を持ち、地域課題の解決を担う人材の育成と確保が必要とされています。

□ 関連計画等

- 御殿場市子ども読書活動推進計画
- 御殿場市子ども読書活動推進計画
- 御殿場市教育振興基本計画

□ 現状データ



出典：御殿場市社会教育課

御殿場市立図書館の利用状況

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
登録者数 (人)	44,598	46,282	47,718	49,060	50,639	51,534	52,821	54,159	55,408	56,868
入館者数 (人)	271,666	262,810	258,600	262,533	258,014	139,941	158,542	156,847	163,949	163,087
利用者数 (人)	107,588	105,355	103,219	101,308	95,658	65,842	79,953	83,537	82,625	80,384
貸し出し冊数 (冊)	549,612	536,231	525,353	514,665	485,097	358,447	406,971	399,179	375,564	356,338
蔵書数 (冊)	269,738	271,679	273,203	274,413	276,741	277,842	280,581	281,583	282,438	283,322

出典：ごてんばの教育

政策の目標

- ◆ 様々な学習機会の提供と情報発信に努め、市民の生涯学習を推進します。
- ◆ 積極的に学びあい、人を育む地域づくり活動を推進します。
- ◆ 地域の人々が互いに助け合い、自ら地域課題の解決に取り組む力を高め、地域コミュニティのつながりを維持・強化します。

□ 政策成果指標

指標	計算式等	基準値 (R6)	目標値 (R12)
市民大学講座 参加者数	市民大学講座 累計出席者数	288 人	350 人
図書館来館者数		163,087 人	356,000 人
図書館資料貸出数		356,338 冊	890,000 冊
本を読むのが好きまたはどちらかといえば好きと答えた児童・生徒数の割合	アンケート	78.0% (R3)	85.0%
富士山市民のサロン利用者数		42,973 人	50,000 人

施策

(1) 学習機会の提供、学習成果の発信

生涯学習施設「富士山市民のサロン」を中心に、学びの入り口となる様々な機会を提供し、情報発信するとともに、市民主体の学習活動を支援します。

年齢や障害の有無を問わず、共に学ぶことのできる機会を提供します。

また、学習成果を発表する機会を充実させることにより、市民の生涯学習意欲の向上に努めます。

(2) 地域づくり活動の支援

学習会や研修活動を通し、地域づくり活動を担う人材の育成と確保を推進します。

また、地域の誰もが参加しやすい交流の場づくりとして、地域公民館などにおける生涯学習活動を支援します。

（３）社会教育関係団体等の活動支援

PTA、婦人会、生涯学習ボランティアセンターをはじめ、地域の社会教育を目的とした各種団体の活動を支援します。

（４）新図書館を情報拠点とした市民活動の支援

新図書館を整備することで、市民の成長と学びを生涯に渡って支え、郷土愛を育み、歴史や文化を未来に繋ぐとともに、まちづくりを支える情報拠点として多くの市民の活動を支援します。

また、御殿場市子ども読書活動推進計画を時勢に沿って改定し、本計画に基づいてブックスタート事業などを行うことで、更なる子どもの読書活動の推進を図ります。

（５）自治会等の自主的な活動の支援と地区集会施設の整備

自治会、地域活動団体など、地域に住む人々が協力しあい、よりよいまちづくりのために自らが企画、立案、実行する地域活動を支援します。

また、それら団体の活動拠点であり、災害時の避難場所でもある地区集会施設を計画的に改修します。

4-3 文化・芸術活動の振興

まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け

しごと	ひと	少子化	安心	地域
-----	----	-----	----	----

SDGs における位置付け



国土強靱化計画における位置付け

a. 直接死を防止する	b. 救助救急活動の確保	c. 行政機能の確保	d. 経済活動を機能させる
e. ライフラインの早期復旧	f. 迅速かつ強靱な復興	g. 防災と地域成長の両立	

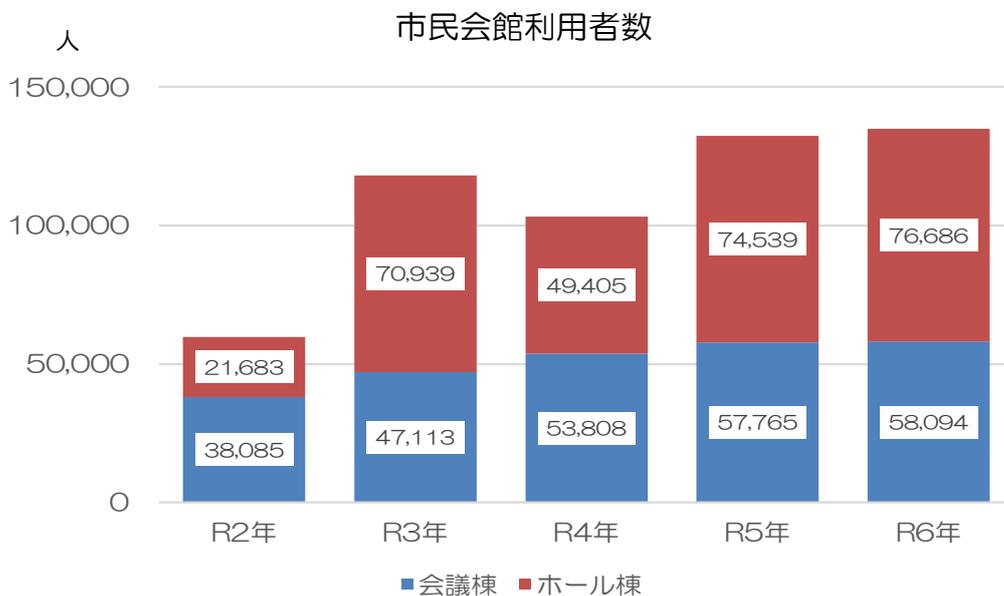
現状と課題

本市では、地域の各世代や関連団体の取組により、文化・芸術活動の裾野は、着実に広がっています。一方、芸術・文化活動においてもライフスタイルの変化によるニーズの多様化、高齢化による団体の構成員減少や後継者不足、活動拠点となる文化施設の老朽化は、本市のみならず、全国的に多くの自治体が抱える課題となっています。

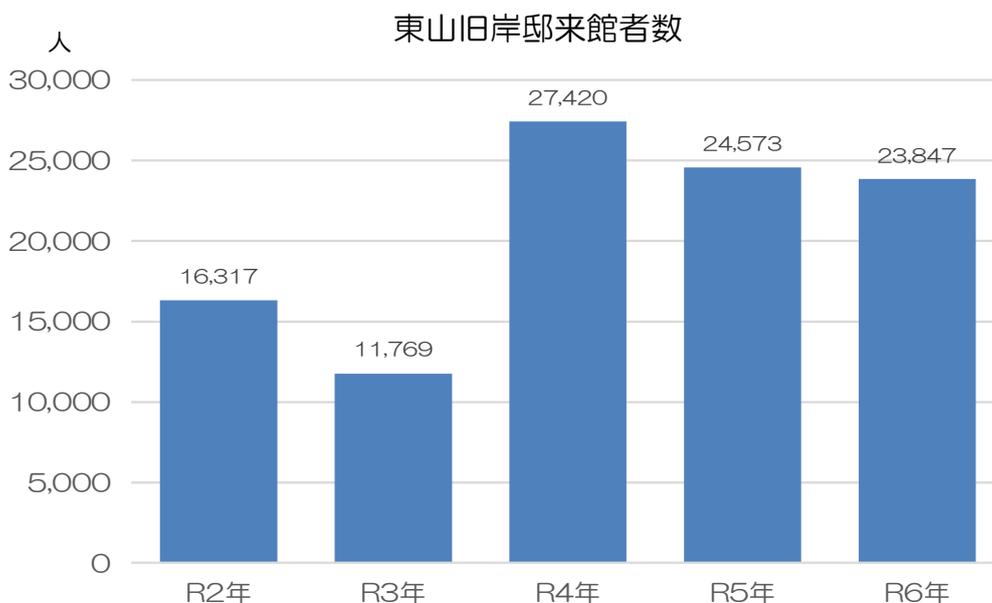
このため、引き続き、各種団体とも連携しながら、市民が文化・芸術に親しむ機会の充実と、文化・芸術振興の担い手育成、観客を含む文化・芸術活動を応援する関係人口の増加、文化施設の機能向上などを推進していく必要があります。

- 関連計画等
 - 御殿場市芸術文化振興基本方針

- 現状データ



出典：御殿場市社会教育課



出典：御殿場市社会教育課

政策の目標

- ◆ 市民一人ひとりが担い手となり、暮らしを彩る文化・芸術活動を振興します。

□ 政策成果指標

指標	計算式等	基準値 (R6)	目標値 (R12)
市民芸術祭全部門の参加者数	実績	2,999 人	3,200 人
市民会館利用者数	指定管理者実績報告	134,780 人	135,000 人
文化協会加盟団体数	文化協会報告	128 団体	128 団体
東山旧岸邸入館者数	指定管理者実績報告	23,847 人	29,000 人

施策

（１）文化・芸術活動機会の充実

優れた文化・芸術に触れる機会の充実を図るとともに、市民が日頃の活動の成果を発表する場の提供に努め、感性豊かに主体的に楽しむことができる「人づくり」を推進します。

（２）文化・芸術活動体制の強化

担い手となる人材の育成など、文化団体の活動体制強化を図るとともに、学校や地域をはじめ、各分野との連携により、様々な文化・芸術活動の広がりを支える「関係づくり」を推進します。

（3）文化・芸術活動基盤の確保

各文化施設の利用者ニーズに応じた適切な管理・運営を行い、施設の有効活用を図るとともに、計画的な修繕・整備などを実施し、身近に文化・芸術を感じるまちの「舞台づくり」に努めます。

4-4 スポーツの振興

まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け

しごと	ひと	少子化	安心	地域
-----	----	-----	----	-----------

SDGs における位置付け



国土強靱化計画における位置付け

a. 直接死を防止する	b. 救助救急活動の確保	c. 行政機能の確保	d. 経済活動を機能させる
e. ライフラインの早期復旧	f. 迅速かつ強靱な復興	g. 防災と地域成長の両立	

現状と課題

本市では、「市民ひとり1スポーツ」を目標にスポーツの振興を図り、多くの市民が、健康維持、体力向上、更には、トップレベルでの競技力向上などを目標に、様々なライフステージでスポーツに親しんできました。

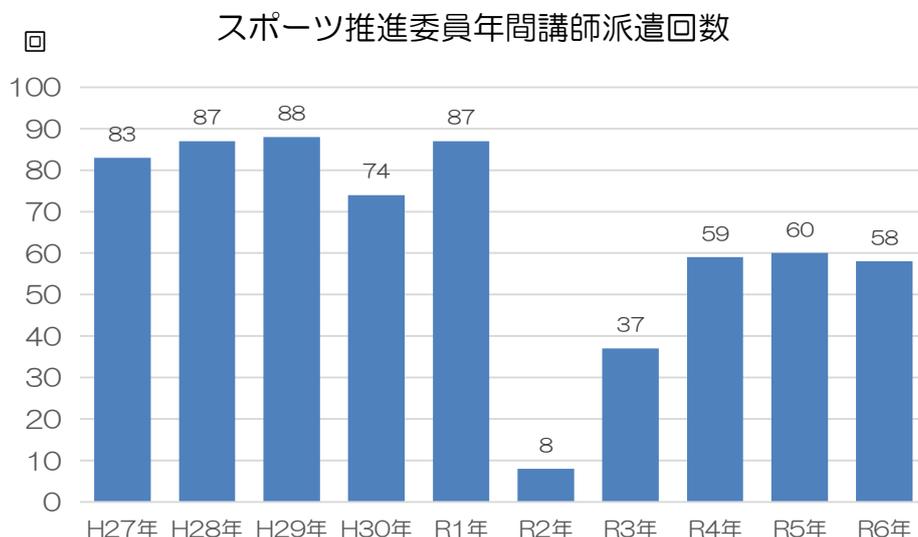
また、東京2020大会自転車ロードレースの開催、ホストタウン交流を通して、スポーツを見る、支える機会を創出し、スポーツが持つ力を官民が共有し地域スポーツコミッション「スポーツタウン御殿場」を設立しています。

これから、社会状況に応じて市民のスポーツに触れ、親しむ機会の創出や、市内外からあつまりともにつながるスポーツ交流の推進が求められています。

□ 関連計画等

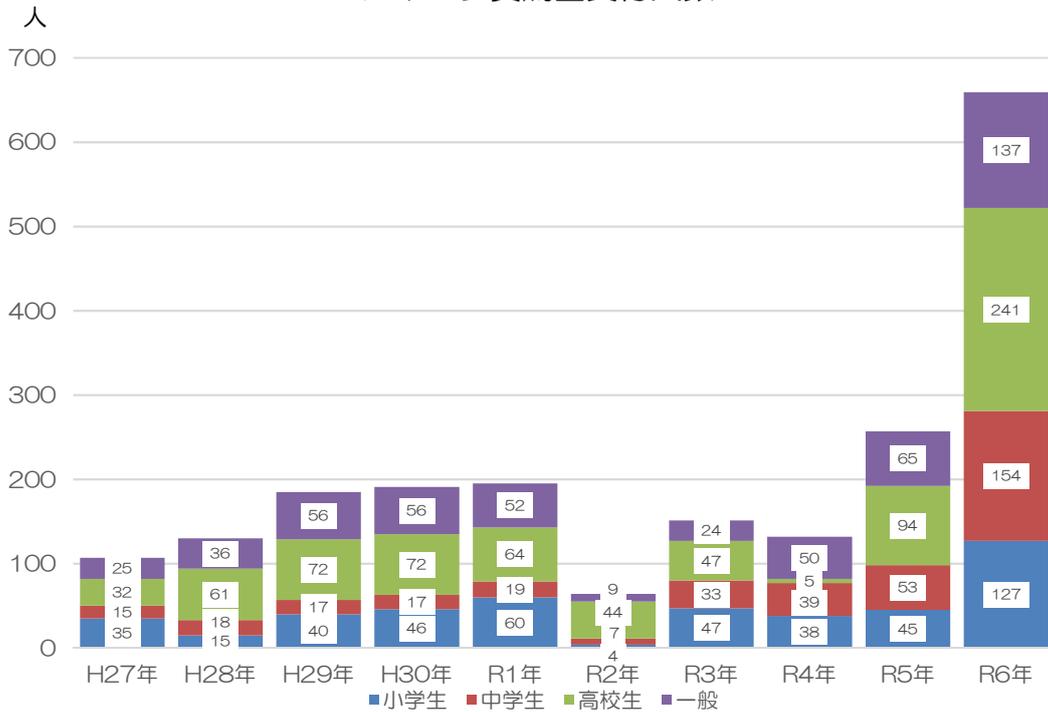
- 御殿場市自転車活用推進計画
- 御殿場市自転車ネットワーク計画

□ 現状データ



出典：御殿場市スポーツ交流課

スポーツ賞賜金交付人数



出典：御殿場市スポーツ交流課

政策の目標

- ◆ 市民の目的に応じたスポーツの推進、スポーツ環境の整備を図ります。
- ◆ 地域資源とオリパラレガシーを生かしたスポーツ交流のまちづくりを推し進めます。

□ 政策成果指標

指標	計算式等	基準値 (R6)	目標値 (R12)
スポーツ施設利用者数	総合体育施設等の年間利用者数	604,018 人	660,000 人
スポーツ賞賜金交付人数	スポーツの全国大会・東海大会等の出場者へ交付	659 人	700 人

施策

(1) 生涯スポーツの振興

スポーツによる健康づくり推進事業を充実させることにより、市民一人ひとりの体力、技術、興味などに応じて、誰もが生涯にわたってスポーツを気軽に楽しみ、身体を動かすことができる環境を創出します。

(2) 競技スポーツの振興

初心者からトップレベルの選手まで、それぞれのレベルに応じた競技力の向上に努めます。

また、トップアスリートとの交流や指導者などの質の向上に努めるとともに、全国規模の競技会などに参加した市民に対し、スポーツ賞賜金の交付等で競技力の向上を支援します。

（３）スポーツ関連施設の適切な整備と運営

スポーツ施設の計画的な改修・整備、学校体育施設等の有効活用により、高齢者や障害のある人などを含め、多くの市民等が気軽にスポーツを楽しむことのできる環境の充実を図ります。

また、地域、利用者及び市外からの来訪者のニーズを的確に把握し、スポーツを通じた交流を一層促進できるよう、適切な運営に努めます。

（４）スポーツ振興を支える体制と人材の育成

スポーツ振興を支える関連団体への活動支援や人材育成と確保、スポーツボランティア活動の普及促進、情報提供などにより、支援体制の充実を図ります。

（５）富士山の麓でスポーツ交流「スポーツタウン御殿場」の推進

魅力ある地域資源と東京 2020 大会レガシーを生かしてスポーツツーリズムイベントの支援やトップアスリートとの交流の機会を創出し、スポーツ交流によるまちづくりを官民連携で推進し地域振興や地域経済へつなげる取組を行っていきます。

4-5 歴史と文化の継承

まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け

しごと	ひと	少子化	安心	地域
-----	----	-----	----	-----------

SDGs における位置付け



国土強靱化計画における位置付け

a. 直接死を防止する	b. 救助救急活動の確保	c. 行政機能の確保	d. 経済活動を機能させる
e. ライフラインの早期復旧	f. 迅速かつ強靱な復興	g. 防災と地域成長の両立	

現状と課題

私たち市民は、長い歴史の中で受け継がれ、地域に根差してきた伝統文化や文化財とともに暮らしています。一方、そうした歴史や伝統文化、文化財が実は市民にはあまり知られていない側面もあります。地域の歴史、伝統文化、文化財を守り伝えていくために、幅広い年代層への学習機会の提供や情報発信の充実、新たな活用方法を検討していくことが必要です。

本市の宝であり、世界文化遺産でもある富士山をはじめ、市内には指定・登録の有無に関わらず多くの多様な文化財があります。これからの文化財保護は、御殿場を特徴づける多様な文化財を総体的に把握し、保存と活用を1つのサイクルとして円滑に回し、文化財をもっと市民に身近な存在にしていこうと求められています。

□ 現状データ

御殿場市文化財一覧

	種別	名称	指定年月日
国指定	特別名勝	富士山	昭和27年11月22日
	史跡	富士山	平成23年2月7日
	天然記念物	印野の熔岩隧道	昭和2年4月8日
	天然記念物	駒門風穴	大正11年3月8日
	重要文化財	手焙形土器	昭和48年6月6日
	重要無形民俗文化財	沼田・大坂の湯立神楽	令和4年3月23日
	天然記念物	カモシカ	昭和9年5月1日
	天然記念物	ヤマネ	昭和50年6月26日

県指定	県史跡	深沢城跡	昭和35年2月23日
	天然記念物	二枚橋の柏	昭和32年12月25日
	天然記念物	永塚の大杉	昭和35年2月23日
	天然記念物	川柳浅間神社の杉	昭和38年12月27日
	天然記念物	宝永のスギ	昭和38年2月19日
	工芸	刀銘（葵文）主水正藤原正清	昭和37年6月15日
	工芸	刀銘備州長船家重	昭和41年3月22日
市指定	天然記念物	二岡神社の社叢	昭和62年3月3日
	天然記念物	駒門の大公孫樹	昭和55年5月27日
	天然記念物	神山のタブノキ	平成2年12月1日
	天然記念物	印野内山のヒノキ	平成6年2月1日
	無形民俗文化財	鮎沢の祈禱三番	昭和48年12月24日
	工芸	光真寺の三十三体仏	平成5年1月5日
	工芸	二岡神社の灯籠	昭和47年9月11日
	工芸	善龍寺の喚鐘	昭和47年9月11日
	工芸	久成寺の鰐口	平成12年8月1日
	建造物	林氏の長屋門	平成5年1月5日
	建造物	旧石田家住宅	平成11年3月18日
	建造物	旧秩父宮御殿場御別邸	平成12年3月27日
	その他（科学技術）	阿部雲気流博物館資料	令和3年3月24日
国登録	建造物	神山復生病院	平成18年3月2日
	建造物	富士カントリー倶楽部クラブハウス	平成24年2月23日
	建造物	YMCA東山荘フィッシャー館	令和2年8月17日
	建造物	YMCA東山荘齊藤記念館	令和2年8月17日
	建造物	旧岸邸	令和3年10月14日

出典：御殿場市社会教育課

政策の目標

- ◆ 本市の歴史、伝統文化、文化財について、多くの市民がより深く理解し、地域全体で守り継承されるように努めていきます。
- ◆ 地域の歴史や伝統文化、文化財の調査研究を継続し、保存と活用のサイクルが円滑に回る、市民にとって身近なものとなるよう文化財保護を進めます。

□ 政策成果指標

指標	計算式等	基準値 (R6)	目標値 (R12)
企画展示の回数	1年間の開催数	2回	4回
文化財行政のパートナーとなる団体数	実績	2団体	3団体
指定・登録文化財の件数	実績	31件	32件
市が主催する学習講座等の開催数	1年間の開催数	2回	6回

施策

（１）歴史と伝統文化、文化財の調査・研究と支援

市内の歴史、伝統文化、文化財に関する資料の収集、記録、保存を行うとともに、研究者や市民などの研究活動を支援します。

（２）文化財の保存・公開と活用

市内にある多様な文化財の調査・研究を進め、保存に役立てるとともに、成果を公開し企画展示や学習講座等に活用し、文化財が市民にとって身近なものとなるよう学びの機会を充実させていきます。

（３）世界文化遺産富士山の保全と啓発

国や県、関係市町などと連携し、世界文化遺産富士山の保全管理体制の整備を図ります。

また、市民団体などと協働し啓発活動を推進するとともに、富士山と御殿場の関わりについての調査・研究成果について、観光分野とも連携して活用を進めます。

（４）図書館郷土資料展示室の利用促進

本市の歴史と伝統文化、文化財を見て知って学べる場として、レファレンスをはじめとする図書館の機能とも連携し、幅広い世代の多くの市民が繰り返し訪れてくれる場となるように、ギャラリートークや企画展示等を織り交ぜながら利用促進を図ります。

4-6 多文化共生と国際交流の推進

まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け

しごと	ひと	少子化	安心	地域
-----	----	-----	----	----

SDGsにおける位置付け



国土強靱化計画における位置付け

a. 直接死を防止する	b. 救助救急活動の確保	c. 行政機能の確保	d. 経済活動を機能させる
e. ライフラインの早期復旧	f. 迅速かつ強靱な復興	g. 防災と地域成長の両立	

現状と課題

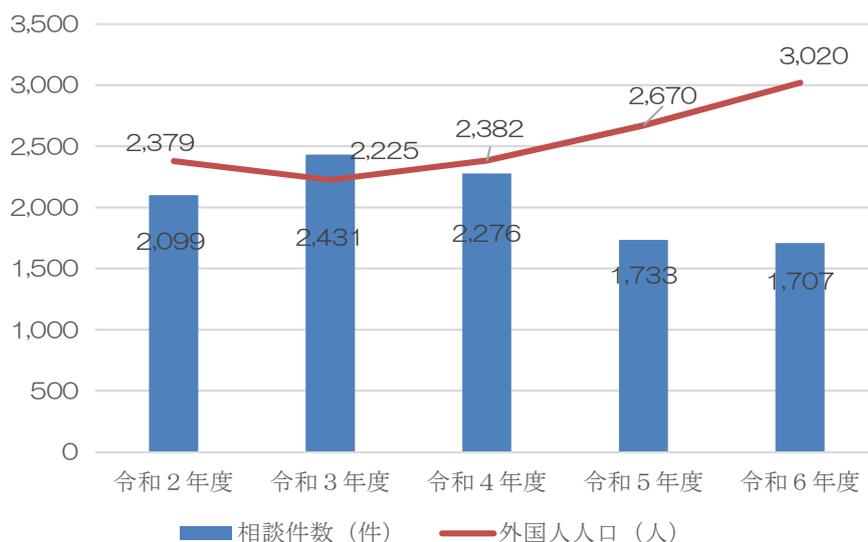
経済や情報のグローバル化が急速に進む中、国際的な視野を持つことが一層求められてきます。

本市においても、市内企業が労働力不足に対応するため、外国人の雇用を拡大する流れに加え、海外からの訪問客が増加しており、日常的に外国人と接する機会が増えています。そのため、地域住民と外国人が相互理解を深め、安心して暮らすことができる環境整備が必要です。

本市は、米国のチェンバースバーグ市及びビーバートン市と国際姉妹都市提携を結んでいますが、アジア近隣諸国をはじめとした諸外国との交流の進展が期待されています。

□ 現状データ

在住外国人人口及び生活相談件数



出典：御殿場市くらしの安全課

政策の目標

- ◆ 市民と在住外国人が異なる文化や価値観を受け入れ、互いに尊重し対等な関係を築きながら、共に安心して快適に暮らすことができる環境の整備に努めます。
- ◆ 外国人との交流活動や国際交流協会などによる市民レベルの交流事業等への支援を通して、国際化の推進を図ります。
- ◆ 国際姉妹都市や諸外国との交流を推進します。

□ 政策成果指標

指標	計算式等	基準値 (R6)	目標値 (R12)
国際交流事業等に参加したスタッフ・ボランティア数	御殿場市国際交流協会 実施事業の従事者数	267 人	360 人
国際交流・多文化共生推進事業の参加者数	語学講座や国際交流・ 多文化共生推進イベン トの年間参加者数	369 人	900 人
地域日本語教育講座※参加者の人数 ※令和 7 年度から実施	地域日本語教室年間参 加者数	0 人	220 人

施策

（１）多文化共生の推進

在住外国人が暮らしやすい環境をつくるため、地域日本語教育を推進するとともに、やさしい日本語による行政PRや相談事業、外国籍児童・生徒に対する学習支援事業などの充実を図ります。

また、地域住民と在住外国人との市民レベルの交流イベントを開催し、ふれあいを深め、相互理解を促進します。

（２）国際姉妹都市及び諸外国との交流の推進

国際姉妹都市及び諸外国との交流を推進するため、地域住民や学生が文化やスポーツなど幅広い分野で交流する機会を創出します。

（３）国際化に対応できる人材の育成

国際理解の促進と国際感覚を高めるため、地域住民と外国人が共に参加できる講座やイベントの開催、青少年の交流事業を通じて、コミュニケーション能力の向上を図り、国際社会で活躍できる人材の充実を図ります。